

はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 3 NO 10 1979. 1. 1
平塚市博物館 TNO 33



あけましておめでとうございます。

全国の博物館の中でも最も新しい博物館のひとつとして誕生してから4年目を迎えようとしています。その活動を通して多くの皆さんと知り合うことができ、昨年10月には、入館者20万人を越えました。より多くの人々に愛され、親しまれ、利用される市民のための博物館をめざしてまいりました。その成果の第1は有形、無形な形で皆さんの心の中に、「平塚にも博物館がある」と刻まれていることであろうと思います。展示室や楽しい体験学習、特別展の催し物、講演会や自然観察会、美しい星座から宇宙への夢をかきたてるプラネタリウム、古文書講読会、デッサン教室など参加された方、ご覧いただいた方なら、より強く博物館を身近かに感じておられることでしょう。今年も館職員全力をあげ皆さんのご期待に沿うように努力してまいりたいと思いますので、皆さんのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

館長 佐藤重雄

1月の鳥 ジョウビタキ

田も畑も白く氷りついたような霜の朝、ジョウビタキのヒッヒッという澄んだ声が、冷めたい空気をふるわせています。低い棒杭の上の小さな動きに気づいて目をやると、銀ねずの背、橙の腹、あざやかな色あいの小鳥が、尾をビクッと振って何やら地上を見つめています。黒目がちな瞳が斜光線にキラッと光り、次の瞬間には翼の白い紋を見せて、やぶかげに飛び移っていきました。

1月の行事予定

●体験学習シリーズ28「陶器を作ろう」

1月9日(火)～13日(土)

土をこね、器に作りあげる工程を体験し、陶器について考えてみよう。

●星を見る会「冬の星雲、星団を見よう」

1月18日(木)午後5時～午後7時

オリオン座のM42や、おうし座のすばる(M45)など、冬の星座のなかに星雲、星団をたずねます。

申し込み 1月8日までに往復ハガキで。

多いときは抽選で30名

なお、小学生以下は父兄同伴で申し込んでください。

●自然観察会「国府津の裏山をたずねて」

1月14日(日) 午前9時～午後3時

申し込み 1月5日(金)までに往復ハガキで。

2月の行事予定

●体験学習シリーズ№30

「貝がらのアクセサリ」

2月8日(木) 午前10時～午後3時
申し込み 1月末日までに往復ハガキで(定員20名をこえた場合は抽選)

巻貝をけずったり、穴をあけてつないだりして色の美しさ、形のおもしろさをいかした物を作ってみましょう。材料は館で用意しますが、それまでにできれば海岸で気に入った貝を集めておいてください。特に鎌倉から三浦にかけての海岸には、いろいろな貝が落ちています。

●自然観察会

「地層のスケッチ」

2月18日(日) 午前9時30分～午後3時
土屋周辺
申し込み 2月10日までに往復ハガキで。
定員30名

●星を見る会

「太陽黒点を見よう」

極大期に入った太陽黒点を調べます。
日時：2月18日 11時30分～1時
申し込み：往復ハガキで。30名。多いときは抽選とします。

はくぶつかん VOL3 №10

発行：平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111 通巻33

印刷：平塚市総務部行政課文書係

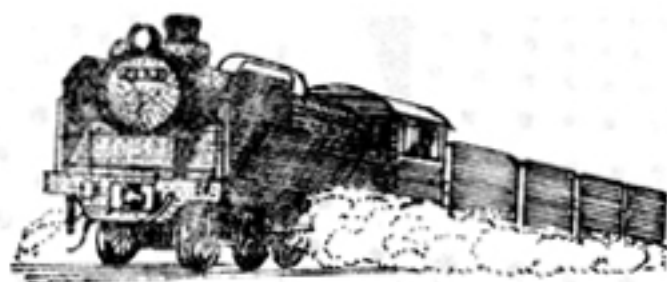
春期特別展「てつどう模型展」のおしらせ

—SL誘致10周年記念—

文化センターに、愛称デコちゃんで親しまれているD52型蒸気機関車がきて、ちょうど今年で10年になります。博物館ではこれを記念して、平塚鉄道車両保存会、湘南鉄道研究会の皆さんの協力をえて模型で見る日本の鉄道展を開催します。

期間は、3月1日から4月8日までで、この間、下記の行事を講堂等で行ないます。

- 3月 4日(日) 映画会(図書館ホール)
- 3月11日(日) 運転会(講堂)
- 3月18日(日) 工作教室(科学教室)
- 3月25日(日) 工作教室(科学教室)
- 4月 4日(日) 運転会(講堂)



●寄贈品コーナー展示替えのおしらせ

「レンズのできるまで」

展示期間 昭和53年12月1日～昭和54年1月30日まで。

今回の寄贈品コーナーは、望遠鏡のレンズができる過程を追いかけてみました。

レンズ用のガラスは、みなさんの家で使われている窓ガラス、コップと同じソーダガラスといわれる種類のもですが、不純物をきらうため純度の高い材料を使います。一見するとみなまっ白で、同じような粉末ですが、レンズの屈折率や分散をいろいろに変化させるため重要なものです。

こうして作られたレンズガラスは、とつレンズやおうレンズ、プリズムにみがかれていきます。今回は望遠鏡の対物レンズにつかわれている、とつレンズとおうレンズを1枚ずつ組み合わせたアクロマートと呼ぶレンズのみがかけられる工程をみてみましょう。良いレンズを作るためのたくさんの工程が理解できることと思います。